

令和4年度		学力創造プラン	日野第七小学校	第3学年
教科	児童の実態・課題		改善へ向けて	
国語	・語彙や指示語などの言葉の知識が不足していて、本文の読み取りが曖昧になる。 ・文章の内容を正確に読み取ることが難しい。		○辞書を手元に置いていつでも調べられるようにし、言葉への興味関心を高められるようにする。 ○中心となる語や主語に線を引くなど、要点をとらえやすくするための読み方を指導していく。 ○物語文や説明文の論理的な読み方(他の教材でも使える読み方)を授業の目標にして、系統的に指導する。	
社会	・目的に応じて課題を設定することには意欲的だが、資料の読み取りや情報を選択する能力に課題がある。		○資料からの読み取りや目的に応じてどの資料を選ぶかなど、資料の活用の仕方を指導することで、読み取る力を高めていく。 ○資料から読み取るだけではなく、新聞やレポートを作成するときに自分でも資料を活用する機会をつくって指導する。	
算数	・問題文から必要な情報や条件を正確に読み取ること課題がある。 ・自分の考えを表現する際に、順序立てて理由を説明することに課題がある。		○必要な情報や条件、場面を正確にとらえられる箇所に線を引くなどして、必要事項を明確にしながら、確認できるようにするとともに、読む力を身に付けさせていく。 ○文章問題を出す際、これまでに学習した内容や違う単元の問題を混ぜて出題し、言葉や条件に着目して考えられるようにする。 ○考えを表現する場を多く設定し、話型などを活用しながら、手順を追って説明する方法を指導していく。	
理科	・問題の答えに対する知識はあるが、その理由を説明することが苦手である。 ・自分の意見を予想や考察として書くことに不安がある。		○様々な事物に関する実験や観察などの経験を増やし、実体験から推論する力を育てる。 ○問題→予想→実験→結果→考察の流れを繰り返し行うことで、問題解決の力を身に付けさせる。 ○予想や考察をノートに書く前に、少人数での意見交換を行う協働学習を取り入れ、自己の考えをまとめる情報を得てから、書く活動に入るようにする。	
音楽	・リコーダーや鍵盤ハーモニカ等で指を細かく動かす技能に不安がある。		○個人の实態に合わせた練習方法を提示し、児童が自信をもって演奏できるようにする。 ○ペアやグループで互い見合い、確認し合いながら運指を覚える活動を取り入れる。	
図画工作	・想像したことを表現したり、つくったりするのが好きな児童が多い。 ・様々な新しい材料・道具に触れる経験が少なく、個人差がある。		○のびのびと表現できるよう題材の工夫をする。 ○年間計画の中に、様々な材料・道具を使える単元設定を行う。	

体育	・好きな運動に偏り、体ほぐし運動や多様な動きをつくる運動など、楽しさや心地よさを味わう運動に対し、興味関心が低い。	○各種運動の楽しさを味わえるよう、様々な動き方の事例を紹介したり、ゲーム的要素を取り入れた動きを行ったりする時間を設け、動き方について考え工夫させ、すすんで運動に取り組もうとする意欲を高めていく。
特別の教科 道徳	・他者との関わりの中でどのような判断をし、気持ちを伝えればよいのか考えることに苦手意識がある。	○相互理解・寛容、規則の尊重に重点をおいて指導していく。
外国語活動	・興味関心はあるものの、英語で話すことや聞くことに苦手意識がある。	○歌やチャンツ・ジェスチャーなどの教材を活用し、楽しみながら英語に触れられるようにする。
総合的な 学習の時間	・与えられたものに取り組むことはできるが、自分で課題を発見したり、解決したりすることに消極的である。	○児童が興味をもつような題材や環境に出会わせ、達成感を味わえるような単元を設定する。 ○地域の方やゲストティーチャーの方に協力していただき、探究的な学びのサイクルが繰り返せるような学習を意図的に仕組む。
特別活動	・個人意識が強く、集団で活動することに不慣れな様子が見られる。	○係や当番活動に参加する中で、友達と協力する場面を通して、活動の良さだけでなく、仲間の大切さや良さに気付かせていく。

家庭学習 図表・グラフの読み取り